



「変革との対峙」

総務省総合通信基盤局
電気通信事業部事業政策課長

木村 公彦 KIMURA Kimihiko

平成 4年 4月 郵政省採用
同 電気通信局電波部航空海上課
平成 5年 7月 同 電気通信局総務課法規係
平成 7年 7月 同 電気通信局電気通信事業部事業政策課主査
平成 9年 7月 英国留学(ブリストル大学大学院)
平成 10年 7月 総務庁人事局参事官補佐
平成 12年 7月 郵政省簡易保険局加入者福祉企画課課長補佐
平成 13年 1月 総務省郵政企画管理局保険企画課課長補佐
平成 14年 1月 総務副大臣秘書官
平成 14年 9月 総務省郵政企画管理局保険経営計画課運用企画室課長補佐
平成 15年 4月 同 電気通信事業紛争処理委員会事務局上席調査専門官
平成 16年 1月 同 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課課長補佐
平成 17年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課統括補佐
平成 18年 8月 独立行政法人情報通信研究機構研究推進部門
国際推進グループマネージャー(ワシントン事務所長)
平成 21年 7月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課調査官
平成 24年 8月 警察庁長官官房国際課国際協力室長
平成 26年 7月 総務省情報通信国際戦略局国際協力課長
平成 29年 7月 同 情報流通行政局サイバーセキュリティ課長
平成 30年 7月 同 サイバーセキュリティ統括官付参事官(総括担当)
令和 元年 7月 内閣官房副長官補付内閣参事官 兼 IT総合戦略室次長
令和 3年 7月 現職



海外の政策担当者とのフィリピン



浴衣で浅草を散策



スキーを満喫する筆者

人に優しい社会を目指す

現在、政府は「デジタル田園都市国家構想」の実現を強力に推進しています。総務省は、その基盤となる5G、光ファイバ、データセンター、海底ケーブルといったデジタルインフラの整備やデジタルの活用による地方の課題解決等に全力で取り組んでいます。デジタルテクノロジーが益々私たちの生活の中に深く入り込み、これからの社会を形成する大きな要素になることは間違いのない事実です。情報通信技術(ICT)・デジタルは、個人の方では解決できない格差を埋め、理想とする社会へと前進させてくれます。そして、私たち制度の作り手も、その恩恵を享受するのです。自分との関連性(自分もユーザーの一人である!)を理解し、客観的な見直しを持っ

て“人/ユーザー”を政策の中心に据えること(ユーザーフレンドリーであること)が、より良い社会に向けた変革への成功のカギになるのだと思います。

成果につながるコミュニケーション力とは

私は、現職に就く前、内閣官房で政権の重要課題となる政策の決定過程に関わってきました。昨年9月に設立されたデジタル庁の制度設計もその一つです。内閣官房での仕事は、様々な省庁の様々な思いを汲み取り、足並みを揃え、それを一つの政策として作り上げていく、そういう総合調整の役割が求められます。社会をより良くするための最適な解に辿り着くためには、粘り強く、虚心坦懐に様々な考えを傾聴していかねばなりません。人々の考えや物事には必ず背景となる事情があり、まずはそ

れをありのまま受け止める受容力が必要です。積極的に人の間に入り、人と人を結び付け、人や物事の背景に目を向け、真意を読み取って対話をするのが極めて重要になると思います。自分ではなく誰かのためならば、タフな対応にも根気強くなり、それが良い成果に結びつくとは私は信じています。

求められているのは、“再現性の高さ”ではない

コロナ禍の今、地球上の誰もが以前のように戻れないと感じ、正解が誰にも分からないVUCAの時代を経験しています。そのような中でも、あるべき社会の姿を追求していく作業。これこそが、今、我々公務員に求められていることだと思います。今後、私たちの責務は大きく変化すると私は考えています。これまでの経験を当てはめるだけでは正解に辿り着

くことはできません。今の自分はこれまでの経験や学びの集大成ですが、そこに足りないものとは何か。この時代に必要な資質とは、自ら社会に興味を抱き、適切に課題を設定し、望ましいことは何かを合わせて考え、立ち足はだかる障壁に立ち向かおうとする心持ちなのだと思います。皆さんは、自分の心を動かす、心を燃やす何かを持っていますか。ぜひ、総務省であなただけのその声を聞かせてください!

若手職員の声



総務省総合通信基盤局
電気通信事業部事業政策課

大内 真
(令和3年入省)

事業政策課は、情報通信の基盤を支えるべく、電気通信事業法をはじめとした制度の整備や運用を担っています。中でも私が携わる制度運用の業務は、電気通信事業者とのやり取りも多く、日常的に多様な相手と関わる仕事です。木村課長のもとにも、日頃から省内外を問わず多くの議論や相談がやってきます。どんな内容であれ相手の言葉に真摯に耳を傾け、柔らかくも適切な言葉や表現で返す姿はとても印象的です。課全体にも前向きかつ丁寧に仕事へ取り組む空気が広がっており、私もそんな課長の姿を「真似び」ながら、業務に取り組んでいます。

PROJECT ブロードバンドの ユニバーサル サービス化

全ての人が情報通信技術の恵沢を享受できる社会の実現は、デジタル社会構築の基本理念です。コロナ禍における新たな日常を構築するためには、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方や暮らしを実現することが重要であり、そのためには、デジタル技術の活用が不可欠です。

総務省では、テレワーク、遠隔教育、遠隔医療等を日本全国各地でも利用可能にすることを目指して、ブロードバンドをユニバーサルサービスとして位置付け、不採算地域におけるブロードバンドサービスの安定的な提供を確保するための制度の創設を目指しています。デジタル田園都市国家構想実現のためにも欠かせない制度作りです。